

E 班発表

除籍冊数の決め方・・・予算要求と連動させる方法

(例) 開架冊数 30,000 冊→利用年数を更新の基準としない本 5,000 冊

利用年数を更新の基準とする本 25,000 冊 ※こちらについて

【予算要求】 図書購入費 = 1,500 冊 × 単価 × 1.08

≒ 25,000 冊 ÷ 17 年
(17 年で全ての図書を更新できる)
17 年・・・生徒の平均年齢

・昨年度購入実績などから計算
・2018 年度「学校図書館用図書平均単価」
<http://www.j-sla.or.jp/material/research/heikin-tanka.html>

→購入した図書と同数の本を除籍する必要あり

除籍冊数 = 1,500 冊

県立図書館に寄贈するには」補足

自館の除籍資料を県立図書館に寄贈したい場合に参照する、県立図書館 HP の「移管資料についてのお願い」についての疑問点

※移管資料についてのお願い

http://www.libnet.pref.okayama.jp/libnet/librarian/sclib_osirase/ikanshiryou.pdf

②バーコードラベル及び背ラベルの剥がし についての疑問

1. 剥がした跡 (のり、シールの白い残骸・・・) はあってもよいか→OK
2. ブッカーが掛かっている本で、ブッカーを切った時に資料自体が切れたり、ラベルを剥がした時に資料が剥がれて破れてもよいか
→あまり望ましくない。資料が傷みそうな場合は無理して剥がさなくてよい
3. バーコードに全面黒のタックシールをかぶせて貼る処理でもよいか
→結局全部剥がさなくてはいけないため、そうしないほしい